
インフォメティス、九州電力の家庭向け機器制御DR実証パートナーに選定

～国内主要電力会社との連携拡大、
エネルギー需給最適化プラットフォームの社会実装が加速～

独自のAI電力データ解析技術を有するインフォメティス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：只野 太郎、以下「インフォメティス」）は、九州電力株式会社（本社：福岡県福岡市、代表取締役 社長執行役員：西山 勝、以下「九州電力」）が実施する、再生可能エネルギーの有効活用を目的としたエコキュートのデマンドレスポンス（以下「DR」）実証において、インフォメティスのエネルギー需給最適化プラットフォーム「BridgeLAB DR」を活用した取り組みを開始することをお知らせいたします。

本実証は、九州電力が推進する「家庭向けDR実証」に関連する取り組みです。インフォメティスは本実証を通じて、九州電力の制御指令に基づき家庭に設置されたエコキュートを遠隔制御し、再生可能エネルギーの余剰発電が発生しやすい時間帯に電力需要を創出する「上げDR」の実現に貢献してまいります。

今回の取り組みは、インフォメティスが推進する分散型エネルギーリソースを統合制御するプラットフォーム事業の社会実装が、国内の主要電力会社との連携を通じて着実に進展していることを示すものです。

■ 背景および取り組みの位置づけ

近年、太陽光発電をはじめとする再生可能エネルギーの導入拡大に伴い、電力の需給調整ニーズは一段と高度化しています。特に九州エリアでは、再生可能エネルギーの導入が進む一方で、供給過多時における出力制御が大きな課題となっており、再生可能エネルギーのさらなる有効活用に向けた新たな需給調整手法が求められています。

その有効な手段の一つが、家庭内にあるエコキュート、蓄電池、EV、空調機器などの分散型エネルギーリソースを活用した機器制御DRです。中でもエコキュートは、生活者の利便性を大きく損なうことなく電力使用時間を調整しやすい機器であり、再生可能エネルギーの有効活用に向けた重要なリソースとして期待されています。

インフォメティスが提供する「BridgeLAB DR」は、電力会社や小売電気事業者が家庭向けDRサービスを展開するためのエネルギー需給最適化プラットフォームです。主要家電メーカーのクラウド連携に対応し、生活者の快適性に配慮しながら、エコキュート等の機器を自動制御することが可能です。

今回の九州電力との実証では、再生可能エネルギーの発電量が多い時間帯にエコキュートの沸き上げを行うことで、電力需要を創出し、再生可能エネルギーの有効活用に貢献する仕組みの検証を行います。インフォメティスは本実証を通じて、国が掲げる「再生可能エネルギー

ギー主力電源化」の方針のもと、太陽光発電の導入が進む九州エリアで次世代エネルギーマネジメントの社会実装を推進してまいります。

■ 国内主要電力会社との連携拡大

インフォメティスは、独自のAI電力データ解析技術およびエネルギー需給最適化プラットフォーム「BridgeLAB DR」を核に、電力会社、家電メーカー、エネルギー関連事業者との連携を拡大しています。

すでに中国電力株式会社の家庭向けDRサービスにおいて「BridgeLAB DR」が採用され、エコキュートの遠隔制御を実施しているほか、関西電力株式会社とはエネルギー柔軟性ソリューションの実現に向けた技術協業を進めています。また、当社関連会社である株式会社エナジーゲートウェイが、東京電力エナジーパートナー株式会社向けに家庭用蓄電池やエコキュートの機器制御技術も提供しています。

今回、九州電力との取り組みが加わることで、当社グループとしての技術・サービスは国内主要電力会社との連携をさらに広げることになります。これは、インフォメティスのエネルギー制御技術が個別の実証段階に留まらず、今後の電力システムに求められる需給調整基盤としての役割を高めていることを示すものです。

当社グループの取り組み概要：

提供先・連携先	取り組みの概要	関連リリース / 詳細	
		発表日	URL
九州電力株式会社	再生可能エネルギーの有効活用に向けた家庭向けエコキュート制御DR実証に参画	2026年 8月3日	本リリース
関西電力株式会社	エネルギー柔軟性ソリューションの実現に向けた技術協業	2026年 6月15日	https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS04931a/54e38aff/9fbc/4ea8/88e4/469dfcd3de89/140120260611568431.pdf
中国電力株式会社	商用家庭向けDRサービスに「BridgeLAB DR」が採用され、エコキュートの遠隔制御を実施	2026年 4月15日	https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS04931a/240011e7/6665/43a7/99e0/5c588983ec3f/140120260414504369.pdf
東京電力エナジーパートナー株式会社	株式会社エナジーゲートウェイ（※）が家庭用蓄電池・エコキュートの機器制御技術を提供	2025年 11月4日	https://www.energy-gateway.co.jp/news/2025/11/post-10.html

※株式会社エナジーゲートウェイ：インフォメティスと東京電力パワーグリッド株式会社による合弁会社

■ 事業性および今後の展開

機器制御DRは、再生可能エネルギーの導入拡大、電力需給の逼迫、電力市場制度の変化を背景に、今後さらなる市場拡大が期待される領域です。特に、家庭内に分散するエネルギー機器を束ねて制御する仕組みは、電力会社や小売電気事業者にとって、需給調整力の確保、再生可能エネルギーの有効活用、生活者向けサービスの高度化に資する重要な基盤となります。

インフォメティスが提供する「BridgeLAB DR」は、商用導入後の継続的な運用を前提としたプラットフォーム型サービスであり、将来的にはストック型収益の創出が期待されます。また、今回の取り組みで得られる知見や制御ノウハウは、他の電力会社・小売電気事業者への横展開にも活用可能です。

今後、インフォメティスはエコキュートに限らず、蓄電池、EV、空調機器など制御対象機器を拡大し、家庭内外の分散型エネルギーリソースを横断的に統合制御するプラットフォーム事業をさらに推進してまいります。

インフォメティスは、エネルギーデータとAIを活用した次世代エネルギーインフラの構築を通じて、電力需給の安定化、再生可能エネルギーの有効活用、脱炭素社会の実現に貢献するとともに、中長期的な企業価値向上を目指してまいります。

■ インフォメティス株式会社について

インフォメティスは「エネルギーデータの力で、暮らしの未来を変えていく。」をミッションに、[エネルギー × AI] をコア技術としたエネルギー最適化ソリューションを提供しています。

- **所在地**：東京都港区芝大門1-12-16 住友芝大門ビル2号館
- **代表者**：代表取締役社長 只野 太郎
- **上場市場**：東証グロース市場（証券コード281A）
- **URL**：<https://www.informetis.com/>